

## 牛鬼制作委員会

### 自分だけのオリジナル牛鬼づくり

えひめ南予いやし博2012をきっかけに、代表の宇都宮 裕さんが仲間と一緒に「牛鬼制作委員会」を立ち上げ、段ボールと紙粘土を使った牛鬼の頭作り体験を始めました。

大・中・小ささまざまなサイズがあり、見栄えにもこだわって材料を厳選しているそうです。通常は完成までに10日ほどかかりますが、リピーターも多く、中には観光に来て6日で完成させた人もいたそうです。

より短時間で簡単に作ることができるマスコット牛鬼は、令和元年度の「21世紀えひめの伝統工

芸奨励賞」を受賞しました。年齢に関係なく、色々な色・柄の牛鬼を集めたいくなるような、しっかりとっていて、かつ親しみやすい作りが特徴です。生地を持ち込みも可能で、世界に1つだけのオリジナル牛鬼を作ることができます。

現在は少人数への対応と、公民館や介護施設などでの出張指導を行っていて、希望があれば設計図の提供も行っているそうです。

宇都宮さんは、「自分で作ると愛着が湧く。牛鬼をより身近に感じてもらえれば」と話してくれました。



有料広告